

品川宿

平成24年11月20日発行

品川第一地域センター
(03-3450-2000)

第二十二回

しながわ宿場まつり開催

平成24年9月29日(土)～30日(日)



👉 おいらんの衣装
を身にまとった5名
の女性

29日(土)

第22回しながわ宿場まつりの前夜祭として、3年ぶりに「おいらん道中」が復活しました。今年のおいらん道中では、公募で選ばれた女性5名が、あでやかな衣装を身にまとい、おつきの禿(かむろ)に扮した女子児童や男衆を従え、八ツ山から品川橋まで約2キロにわたり、午後6時から1時間30分程かけて、旧東海道をしやなりしやなりと練り歩きました。



また、おいらんは「高下駄」を外側から内側に動かす「外八文字」という歩き方で、観客を魅了しましたが、その高下駄は片足2.5キロもあり、見ている以上に体力を使う歩き方の方です。途中、楽間で休憩をはさみながらも、見事に最後まで歩きぬき、おいらん道中をやり遂げました。(👉「外八文字」の歩き)



3年ぶりの復活ということで、大勢の観客で旧東海道がごったがえしている中で、普段は感じることできない妖艶な雰囲気、大人から子供まで、更には外国人の方までも息をのみ、夢中でシャッターを切っていました。

30日(日)

12時から「江戸風俗行列」が行われました。こちらでは、江戸時代のさまざまな職業・役柄に扮装した方々が、旧東海道を練り歩きました。扮装したその役になりきり、チャキチャキの江戸っ子を演じて、沿道の観客を盛り上げていました。



また、12時20分からは、鎮守橋にて森重流砲術鉄砲隊の演舞が行われ、甲冑を着て鉄砲を操る武士たちの勇姿に、子どもたちは目を輝かせていました。



聖蹟公園では、「日本各地の恵み、食と酒と物産」ということで、北海道から鹿児島まで、各地の屋台が約20店出店しました。どの屋台も、それぞれの地域の名産品・地元料理を提供し、品川にいながら、全国を食べ歩くことができました。

29日・30日を通じ、旧東海道は、たくさんさんの屋台とたくさんさんの観客で埋まり、江戸時代、東海道五十三次の最初の宿場町だった「品川宿」の当時の賑わいを感じ、まるで当時にタイムスリップをしたような気持ちにさせてくれる宿場まつりとなりました。

親子ハイキング ～いもほり&みかん狩り～

10月21日(日)、青少年対策品川第一地区委員会は「親子ハイキング いもほり&みかん狩り」を実施しました。参加者は地域の親子67名で、中高生のジュニアリーダー4人がボランティアとして初めて参加しました。



夏を思わせる陽気の中、横須賀市にある津久井浜観光農園まで駅から約1時間ハイキングした後、いもほりとみかん狩りを楽しみました。



おいもみかんも、お店で売っているものとは違って、いろいろな大きさや形をしていて、子供たちにとっては良い『食育の場』となりました。

天気にも恵まれ、こどもも大人も大満足の日となりました。

スカイツリーを観に行こう ～屋形船で遊覧～

11月4日(日)、青少年対策品川第一地区委員会主催の屋形船イベントが開催されました。このイベントは今年が初めてとなる企画で、申し込みも受付が開始されてから、15分で定員に達する人気ぶりでした。

屋形船は、品川浦からレインボーブリッジをくぐって、隅田川をさかのぼり、桜橋付近では、みんなで船のデッキに上りスカイツリーを眺めました。

その後Uターンし、船内でゲーム大会をしながら、お台場をめぐるしました。当日は天気が良く、とても気持ちのいい爽やかな遊覧となり、子どもたちは船から見る景色を楽しんでいました。



🔁(次回) ☆ ボウリング大会 ☆
12月16日(日)
品川プリンスホテル・ボウリングセンター
※ 11月20日申し込み開始!

回																			
覧																			